

ほたる

令和2年 7月17日 発行

目指す児童生徒像

- すすんで学び、考える子ども
- みんなとなかよくする子ども
- 明るく元気な子ども
- 自分のことは自分でする子ども

思いやりをもち、きまりを守って

教頭 佐瀬陽一

3月以降、新型コロナウイルス感染症の状況により、臨時休校、分散登校と学校の完全再開に向けて段階的に準備を進め、ようやく7月2日から、全員登校による学校再開をすることができました。学校には、元気いっぱい活動に取り組むいつもどおりの子供たちの笑顔が帰ってきました。これまで保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組に対して、ご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

さて、学校では感染防止のための新しい生活が定着してきました。登校後の手洗いや消毒と健康観察、マスク着用の生活、隣との間隔を取った机の配置、前を向いての静かな給食など、感染防止のためのきまりを守って生活しています。このきまりを守ることが、自分や友達、そして家族の命を守ることになります。以前、ドイツのメルケル首相が感染対策のメッセージとして、「一人一人が他の人を思いやり、きまりを守って行動することが命を守ることになる」という旨の話をされていました。子供たちの健康、安全を守るため、今後も保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、思いやりをもち、きまりを守って感染防止に努めていきます。

梅雨明けが待ち遠しい毎日ですが、来週21日火曜日から夏休みに入ります。今年の夏休みは新型コロナウイルス感染予防も大切になりますが、夏休みにしかできないこともあると思います。いろいろな体験を通して、新型コロナウイルスに負けない強い心と体をつくり、一回り大きくなった子供たちとの再会を楽しみにしています。



【8月の予定】

24日(月):夏休み明け全体朝会

30日(日):開校記念日

31日(月)

～9月11日(金):教育実習

【9月の予定】

3日(木):学校見学会(高等部)

7日(月)～11日(金):フリー参観

16日(水)

～18日(金):中学部3年修学旅行

29日(火):避難訓練

開校記念日 8月30日(日)

《宮城県立金成支援学校の沿革の概要》

- ・ 昭和41年 4月 1日 宮城県ほたる学園内に、金成町立沢辺小学校、沢辺中学校の分校として開校
- ・ 昭和53年 4月 1日 宮城県立金成養護学校として独立開校
- ・ 昭和54年 8月30日 校舎落成
- ・ 昭和55年 2月20日 校舎落成記念式典
- ・ 平成21年 4月 1日 宮城県立金成支援学校に校名変更
- ・ 平成29年12月 1日 創立40周年記念式典

七夕集会

7月7日（火）小・中学部で七夕集会を行いました。みんな、思い思いの願い事の短冊を笹に吊るし、「新幹線がたくさん見られますように。」とか「パパとドライブしたいです。」などと発表することができました。また星探しゲームでは、たくさん星を見つけて天の川を作り、彦星と織姫を会わせることができました。



東北職業能力開発大学校との連携

今年度も、東北職業能力開発大学校の学生さんが「車椅子自動洗浄機」の製作にチャレンジします。そこで、7月3日（金）学生6名、先生2名が来校し、本校の様子を見学しました。「東北」というだけあり、学生は2名の県内出身者以外は秋田、青森、岩手、福島出身です。おまけに先生2名も秋田と北海道出身です。そんな方々が「車輪が4つある以外はそれぞれ全く別物だ。」という感想と共に児童生徒の車椅子のサイズを綿密に測定したり、校舎内の設置場所の検討をしたりしました。完成に期待したいと思います。



明日の7月21日（火）から8月23日（日）まで夏休みとなります。児童生徒が遊びに出かける機会も増えることと思われます。怪我や病気に十分気をつけて楽しい夏休みをお過ごし下さい。なお、8月11日（火）から14日（金）まで学校は閉庁となります。緊急の連絡は（緊急電話090-2842-6578）までお願いします。